# 土浦市立小学校適正配置実施計画

（概要版）

平成２５年２月

土浦市教育委員会

# 目　次


Ⅰ　実施計画策定の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

１．はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

２．「土浦市立小学校及び中学校適正配置等基本方針」の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

３．適正規模・適正配置の対象校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

Ⅱ　宍塚小学校適正配置実施計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

１．宍塚小学校の現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

（１）児童数・学級数・教員数の推移と予測・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

（２）宍塚小学校の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

２．宍塚小学校の適正配置の方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

（１）適正配置の方法と位置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

（２）統合時期・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

３．宍塚小学校の適正配置の今後の進め方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

（１）統合に向けての児童に対するケア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

（２）学校行事，ＰＴＡ組織等の取り扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

（３）通学支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

（４）学校跡地利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

（５）スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

Ⅲ　新治地区小学校適正配置実施計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

１．藤沢小学校，斗利出小学校，山ノ荘小学校の現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

（１）児童数・学級数・教員数の推移と予測・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

（２）藤沢小学校，斗利出小学校，山ノ荘小学校の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

２．藤沢小学校，斗利出小学校，山ノ荘小学校の適正配置の方針・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

（１）適正配置の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

（２）学校の位置及び施設の形態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

３．藤沢小学校，斗利出小学校，山ノ荘小学校の適正配置の今後の進め方・・・・・・・・・・・・ 10

（１）小・中学校一体型施設整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

（２）学校跡地利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

（３）学校行事，ＰＴＡ組織等の取り扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

（４）通学支援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

（５）統合に向けての児童に対するケア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

（６）スケジュール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

Ⅳ　上大津西小学校・菅谷小学校適正配置実施計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

１．上大津西小学校，菅谷小学校の現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

（１）児童数・学級数・教員数の推移と予測・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

（２）上大津西小学校，菅谷小学校の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

２．上大津西小学校，菅谷小学校の適正配置の進め方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

# Ⅰ　実施計画策定の目的

## １．はじめに

全国的な少子化が進む中，土浦市においても児童生徒数の減少に伴い，地域間における学校規模に格差が生じてきています。地域によっては学校の小規模校化は今後もさらに進むことが予想され，こうした現象は，将来を担う子どもたちの学校における人間関係，切磋琢磨する機会，部活動の選択などの幅を狭めるばかりか，教職員の配置数などの教育条件，教育環境，学校運営等のあらゆる面でさまざまな問題が生じるため，市内全域にわたって教育の機会均等と公平性を確保することが急務の課題となっております。

さらに，平成２０年４月には茨城県教育委員会から公立小中学校の適正規模について，児童生徒のよりよい学習環境や生活環境，人間関係の構築などの面から，望ましい学校の目指すべき姿を示した指針が出されました。

このようなことから，土浦市教育委員会では，平成２１年１０月に「土浦市立幼稚園，小学校及び中学校適正配置等検討委員会」を設置し，土浦市立幼稚園，小学校及び中学校の適正規模・適正配置等について，慎重な審議を重ねて検討いただき，小・中学校については平成２３年２月に検討結果の提言をいただきました。

この提言を踏まえ，土浦市教育委員会では，今後の学校規模の適正化と適正配置のあり方についての基本的な考え方をとりまとめた「土浦市立小学校及び中学校適正配置等基本方針」（以下，「基本方針」という。）を平成２３年２月に策定いたしました。

この基本方針に基づき，平成２３・２４年度の２カ年で，適正規模を満さたない６つの小学校を対象に，保護者，地域住民及び未就学児の保護者に対して説明会を開催し，基本方針の趣旨の説明及び小学校の適正規模・適正配置に関する意見交換を行ってまいりました。

この度，保護者及び地域住民との意見交換等の結果を踏まえ，３地区６小学校の適正配置の方向性と今後の取り組みをまとめた「土浦市立小学校適正配置実施計画」（以下，「実施計画」という。）を策定いたしました。

今後は，子どもたちにとってのより良い教育環境の整備と，学校教育の充実を図るために，実施計画に基づき対象となる小学校の適正配置を進めてまいります。

## ２.「土浦市立小学校及び中学校適正配置等基本方針」の概要

■「土浦市立小学校及び中学校適正配置等基本方針」の概要

（１）学校の適正規模の基本的な考え方

ア　小学校

全学年でクラス替えやグループ学習などの充実を図ることができ，学年に複数の教員が配置できる１２学級以上が望ましい。

なお，統合を考える場合は，学校施設の使用に支障をきたさず，教員と児童の関わりを良好に保つことができる２４学級以下を目安とする。

イ　中学校

小学校の考え方とほぼ同様に，中学校では教科担任制となるため，教員配置の面から主要５教科に複数の教員が配置でき，全教科専任教員が配置できる９学級以上が望ましい。

なお，統合を考える場合は１８学級以下を目安とする。

（２）学級数による適正規模

ア　小学校…１学年２学級以上の１２学級以上
統合を考える場合は２４学級以下

イ　中学校…１学年３学級以上の９学級以上
統合を考える場合は１８学級以下

（３）学校の適正規模・適正配置に向けた方策

ア　隣接する学校との統合

隣接する小規模校がある場合，学習環境が良い方などに編入します。

イ　学校の再編成，新設

近隣に小規模校が２～３校あり，学校用地が確保できれば，学校を再編成・新設します。

ウ　通学区域の見直し

適正規模校の通学区域の一部を，周辺の適正規模に満たない学校の通学区域に編入します。

## ３．適正規模・適正配置の対象校

基本方針を策定した平成２３年２月時点において適正規模を満たさない小学校で，今後とも児童数の減少傾向が続くと見込まれる以下の３地区における６つの小学校とします。

なお，新治中学校については，中学校の適正規模を満たしていませんが，市内の中学校の配置バランスや地域コミュニティへの影響等を勘案し，適正規模・適正配置の対象校から除外します。

■適正規模・適正配置対象校（３地区６小学校）

- 宍 塚 地 区 … 宍塚小学校
- 新 治 地 区 … 藤沢小学校，斗利出小学校，山ノ荘小学校
- 上大津地区 … 上大津西小学校，菅谷小学校

# Ⅱ　宍塚小学校適正配置実施計画

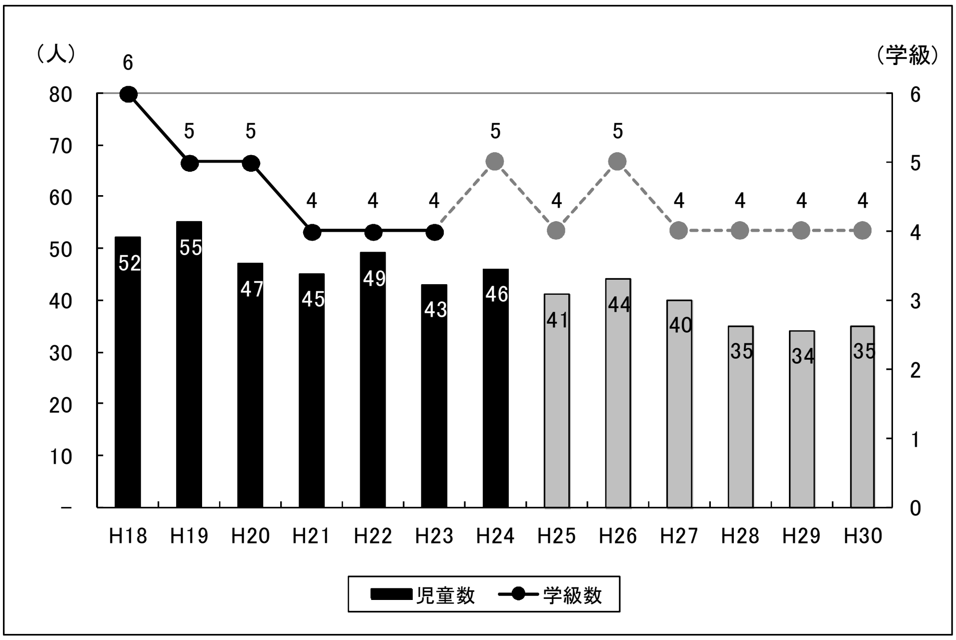
## １．宍塚小学校の現状と課題

### （１）児童数・学級数・教員数の推移と予測

宍塚小学校は，平成２４年５月１日現在で，児童数４６人，学級数５学級（４・５学年が複式学級)，教員数９名となっています。過去６年の児童数の推移では，横ばいから減少傾向にあり，今後の将来予測においても減少傾向で推移することが予想されます。

また，平成１９年度より複式学級が設置され，平成２１年度からは複式学級が２学級となっています。

■宍塚小学校の児童数，学級数等の推移と将来予測（推計）




※グラフは特別支援学級を除く
※平成 25 年度以降の児童数及び学級数は，小学校区別年齢段階別統計(H24.4.1 現在)（土浦市）をもとにした推計値
※学級数は平成 24 年度時点の学級編制基準を採用

### （２）宍塚小学校の課題

宍塚小学校における現状を踏まえ，課題を整理すると，以下のとおりとなります。

・市の基本方針で定めた適正規模に満たない小規模校となっています。
・今後の児童数は，減少傾向で推移すると見込まれます。
・複式学級の状況が続いていくことが予想されます。

## ２．宍塚小学校の適正配置の方針

### （１）適正配置の方法と位置

宍塚小学校は，学区が隣接し同じ土浦第一中学校の通学区域内にある土浦小学校に統合します。

### （２）統合時期

土浦小学校建替工事の新校舎が平成２６年１月に竣工予定であることから，宍塚小学校の土浦小学校への統合時期は平成２６年４月とします。

**参考：統合後の児童数・学級数の状況（平成 26 年度推計）**

宍塚小学校と土浦小学校の統合後の児童数，学級数の予測（平成２６年度）では，児童数６７３人，学級数２１学級となり，適正規模を満たすこととなります。

| | | 1 学年 | 2 学年 | 3 学年 | 4 学年 | 5 学年 | 6 学年 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 宍塚小学校 | 児童数 | 9 | 4 | 5 | 7 | 12 | 7 | 44 |
| | 学級数 | (1) | (1) | | (1) | (1) | (1) | (5) |
| 土浦小学校 | 児童数 | 98 | 101 | 101 | 103 | 125 | 101 | 629 |
| | 学級数 | (3) | (3) | (3) | (3) | (4) | (3) | (19) |
| 統合後(計) | 児童数 | 107 | 105 | 106 | 110 | 137 | 108 | 673 |
| | 学級数 | (4) | (3) | (3) | (4) | (4) | (3) | (21) |
| 1 学級あたりの平均児童数 | | 27 | 35 | 35 | 28 | 34 | 36 | 32 |

※特別支援学級を除く
※小学校区別年齢段階別統計(H24.4.1 現在)（土浦市）をもとにした推計値
※学級数は平成 24 年度時点の学級編制基準を採用

## ３．宍塚小学校の適正配置の今後の進め方

### （１）統合に向けての児童に対するケア

土浦小学校への統合に伴い，「集団にうまくなじめるか」，「新しい友人関係が築けるか」，「学校規模の違いに対応できるか」などの児童が抱く様々な不安を取り除き，新しい学校生活を円滑に迎えられるよう，両校の教員が話し合いを行い，必要と考えられる事前交流事業などを合同で実施します。

**ア　統合前のケア**

・事前交流事業（合同授業，合同行事（給食，運動会，遠足，児童会など））
・学校見学会
・保護者や教職員の事前交流活動など

**イ　統合後のケア**

・不安や悩みを抱える児童との相談などの対応を行う教員や非常勤講師の配置など

### （２）学校行事，ＰＴＡ組織等の取り扱い

統合に伴い必要となる各種の取扱い及び関係事務については，円滑な統合に向けた準備作業を進めるため，保護者，学校を交えて十分に協議を行い，具体的な検討を進めていきます。

**■主な検討・協議事項**

・学校行事，児童会，クラブ活動　等
・学校指定用品（体操服，上履き等），式典行事（閉校式）等
・ＰＴＡ組織運営（組織再編，規約，役員選出，運営計画，予算等）等
・設備・備品（学校備品，教材備品，学校図書），予算計画　等
・放課後児童対策（放課後子ども教室（宍塚小），放課後児童クラブ（土浦小））　等

### （３）通学支援

統合により，新たな通学路の安全確保とともに児童への心理的負担軽減の配慮から，スクールバスを運行します。

運行方法や本数，ルート等については，保護者及び学校を交えての話し合いや他市町村の事例を参考にして，具体的な検討・決定を行うこととします。

### （４）学校跡地利用

学校跡地・跡施設利用については，学校は長い歴史を有し，これまで地域コミュニティの中心的役割も担ってきたことから，単なる教育施設だけではなく，地域においても重要な施設であるため，まちづくりの観点から庁内に検討組織を設置して，利活用について調査・研究を行うとともに，地域住民と連携・協力して検討を進めていきます。

（５）スケジュール

| | 教育委員会 | 学校 | 保護者 |
|---|---|---|---|
| H25. 4 | ○通学路，スクールバスの運行経路の検討 | ○学校の事前交流<br>○通学路，スクールバスの運行経路の検討<br>○ＰＴＡ組織運営の検討<br>○学校備品等の取扱いの検討 | ○通学路，スクールバスの運行経路の検討<br>○ＰＴＡ組織運営の検討<br>○学校用品の検討 |
| H25. 5 | | | |
| H25. 6 | | | |
| H25. 7 | | | |
| H25. 8 | ○学区審議会の開催（通学区域変更） | | |
| H25. 9 | ○議会<br>学校の設置及び管理に関する条例の一部改正案を上程 | | |
| H25.10 | | | |
| H25.11 | | | |
| H25.12 | ○スクールバスの運行経路決定 | | |
| H26. 1 | | | |
| H26. 2 | | | |
| H26. 3 | | ○備品の移動等 | |

# Ⅲ　新治地区小学校適正配置実施計画

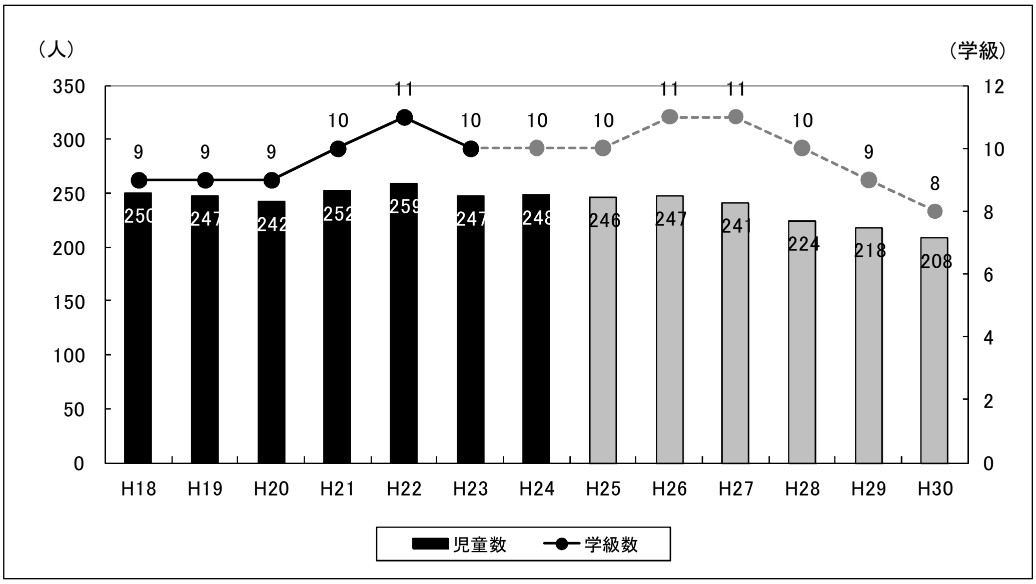
## １．藤沢小学校，斗利出小学校，山ノ荘小学校の現状と課題

### （１）児童数・学級数・教員数の推移と予測

#### ア　藤沢小学校

藤沢小学校は，平成２４年５月１日現在で，児童数２５１人，学級数１１学級（うち特別支援学級１），教員数１７名となっています。過去６年の児童数の推移では，ほぼ横ばいで推移していますが，今後の将来予測では減少傾向で推移することが予想されます。

■藤沢小学校の児童数，学級数等の推移と将来予測（推計）

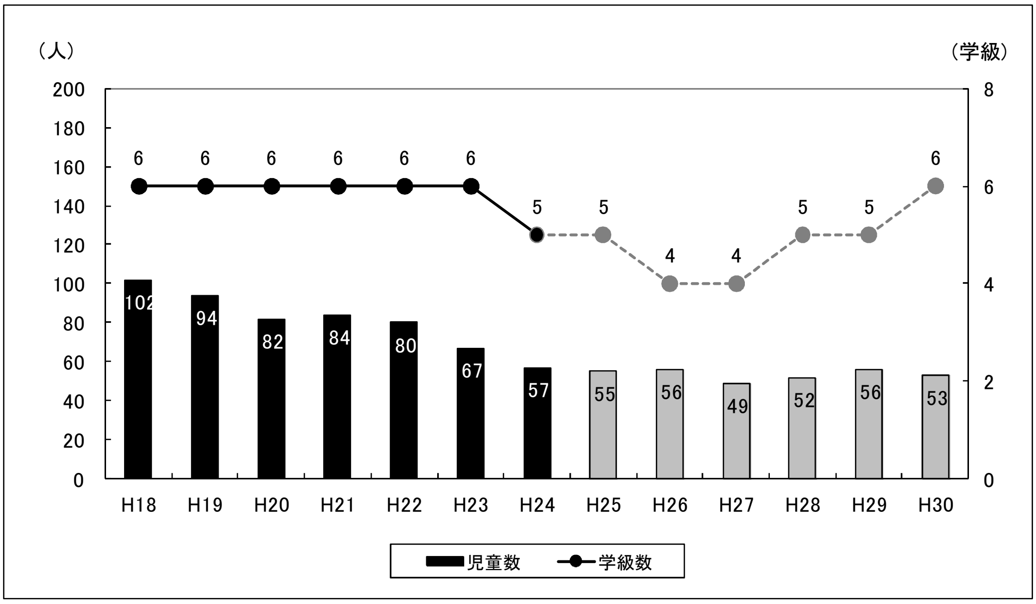



※グラフは特別支援学級を除く
※平成 25 年度以降の児童数及び学級数は，小学校区別年齢段階別統計(H24.4.1 現在)（土浦市）をもとにした推計値
※学級数は平成 24 年度時点の学級編制基準を採用

### イ　斗利出小学校

斗利出小学校は，平成２４年５月１日現在で，児童数５８人，学級数６学級（うち特別支援学級１），教員数１２名となっています。過去６年の児童数の推移では，減少傾向となっており，今後の将来予測においても，同様な傾向で推移しますが，平成２７年度以降はその傾向がやや鈍化することが予想されます。なお，平成２４年度からは，複式学級が設置されています。

■斗利出小学校の児童数，学級数等の推移と将来予測（推計）

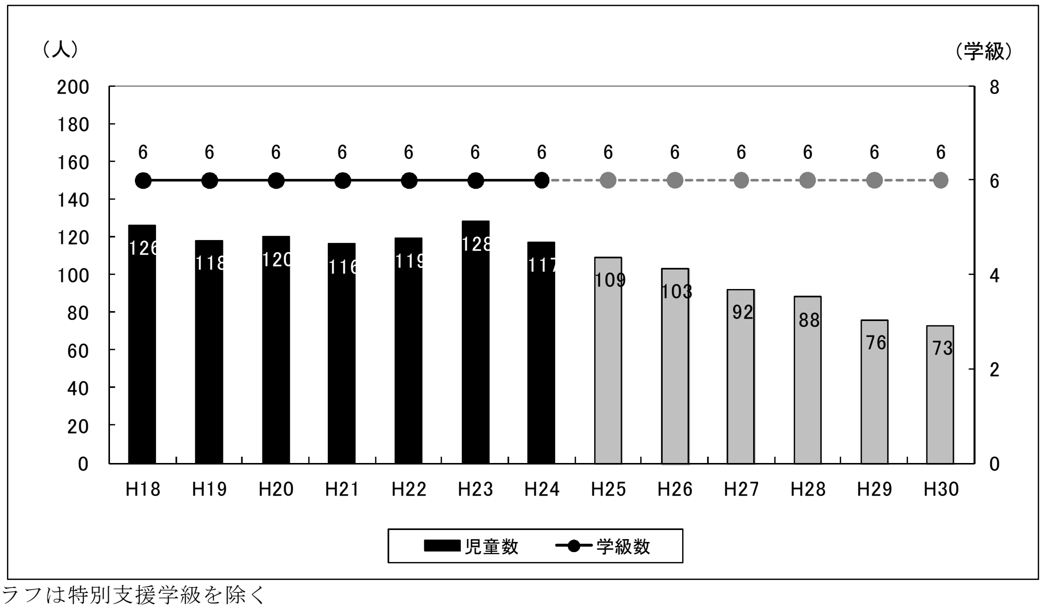



### ウ　山ノ荘小学校

山ノ荘小学校は，平成２４年５月１日現在で，児童数１２１人，学級数８学級（うち特別支援学級２），教員数１２名となっています。

過去６年の児童数の推移は，ほぼ横ばいで推移していますが，今後の将来予測では，大きく減少傾向で推移することが予想されます。

■山ノ荘小学校の児童数，学級数等の推移と将来予測（推計）




※グラフは特別支援学級を除く
※平成 25 年度以降の児童数及び学級数は，小学校区別年齢段階別統計(H24.4.1 現在)（土浦市）をもとにした推計値
※学級数は平成 24 年度時点の学級編制基準を採用

### （２）藤沢小学校，斗利出小学校，山ノ荘小学校の課題

藤沢小学校，斗利出小学校，山ノ荘小学校における現状を踏まえ，課題を整理すると，以下のとおりとなります。

・３校全てにおいて，市の基本方針で定めた適正規模に満たない小規模校となっています。
・今後の児童数は，３校全てにおいて減少傾向で推移すると見込まれます。
・斗利出小学校は，平成２４年度から複式学級が設置されています。

## ２．藤沢小学校，斗利出小学校，山ノ荘小学校の適正配置の方針

### （１）適正配置の方法

藤沢小学校，斗利出小学校，山ノ荘小学校の３校を一つの小学校に再編成・新設します。

### （２）学校の位置及び施設の形態

新設校の位置は，現在の新治中学校敷地内とし，施設一体型の小中一貫校とします。

**参考：統合後の児童数・学級数の状況（平成 30 年度推計）**

藤沢小学校，斗利出小学校，山ノ荘小学校の統合後の児童数，学級数の予測（平成 30 年度）では，児童数 334 人，学級数 12 学級となり，適正規模を満たすこととなります。

| | | 1 学年 | 2 学年 | 3 学年 | 4 学年 | 5 学年 | 6 学年 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 藤沢小学校 | 児童数<br>学級数 | 34<br>(1) | 28<br>(1) | 26<br>(1) | 38<br>(1) | 41<br>(2) | 41<br>(2) | 208<br>(8) |
| 斗利出小学校 | 児童数<br>学級数 | 5<br>(1) | 14<br>(1) | 9<br>(1) | 8<br>(1) | 9<br>(1) | 8<br>(1) | 53<br>(6) |
| 山ノ荘小学校 | 児童数<br>学級数 | 12<br>(1) | 12<br>(1) | 12<br>(1) | 8<br>(1) | 16<br>(1) | 13<br>(1) | 73<br>(6) |
| 統合後 | 児童数<br>学級数 | 51<br>(2) | 54<br>(2) | 47<br>(2) | 54<br>(2) | 66<br>(2) | 62<br>(2) | 334<br>(12) |
| 1 学級あたりの平均児童数 | | 26 | 27 | 24 | 27 | 33 | 31 | 28 |

※特別支援学級を除く
※小学校区別年齢段階別統計(H24.4.1 現在)（土浦市）をもとにした推計値
※学級数は平成 24 年度時点の学級編制基準を採用

## ３．藤沢小学校，斗利出小学校，山ノ荘小学校の適正配置の今後の進め方

### （１）小・中学校一体型施設整備

新設校の整備には計画，設計及び工事を含め，概ね５年程度の事業期間を要するものと見込まれますが，できる限り早期の開校を目指します。

### （２）学校跡地利用

学校跡地・跡施設利用については，学校は長い歴史を有し，これまで地域コミュニティの中心的役割も担ってきたことから，単なる教育施設だけではなく，地域においても重要な施設であるため，まちづくりの観点から庁内に検討組織を設置して，利活用について調査・研究を行うとともに，地域住民と連携・協力して検討を進めていきます。

### （３）学校行事，ＰＴＡ組織等の取り扱い

統合に伴い必要となる各種の取扱い及び関係事務については，円滑な統合に向けた準備作業を進めるため，保護者，学校による（仮称）統合準備協議会を組織し，十分に協議を行い，検討を進めていきます。

### （４）通学支援

統合により，新たな通学路の安全確保とともに児童への心理的負担軽減の配慮から，スクールバスを運行します。

運行方法や本数，ルート等については，保護者及び学校を交えての話し合いや他市町村の事例を参考にして，検討・決定を行うこととします。

### （５）統合に向けての児童に対するケア

統合に伴い，「集団にうまくなじめるか」，「新しい友人関係が築けるか」などの児童が抱く様々な不安を取り除き，新しい学校生活を円滑に迎えられるよう，３校の教員が話し合いを行い，必要と考えられる事前交流事業などを関係校の合同で実施します。

**ア　統合前のケア**

・事前交流事業（合同授業，合同行事（給食，運動会，遠足，児童会など））
・学校見学会
・保護者や教職員の事前交流活動など

**イ　統合後のケア**

・不安や悩みを抱える児童との相談などの対応を行う教員や非常勤講師の配置など

### （６）スケジュール

| 年　　度 | 項　　　　　目 |
|---|---|
| 平成 25 年度 | ○（仮称）新治小学校整備計画 |
| 平成 26 年度<br>∫<br>平成 30 年度 | ○基本設計及び実施設計<br>○校舎整備工事<br>○（仮称）新治小学校（施設一体型小中一貫校）の開校 |

# Ⅳ　上大津西小学校，菅谷小学校適正配置実施計画

## １．上大津西小学校，菅谷小学校の現状と課題

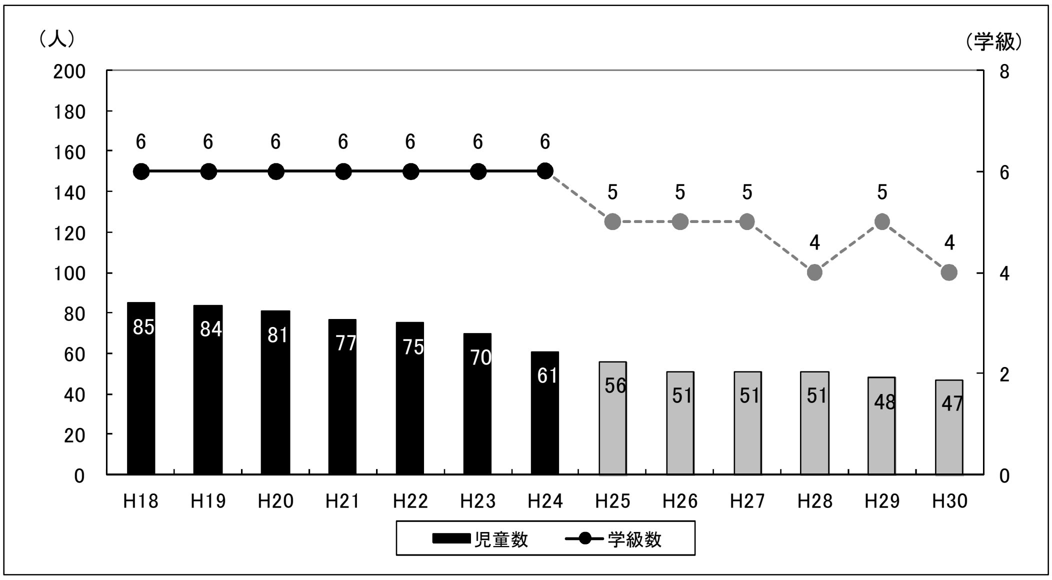
### （１）児童数・学級数・教員数の推移と予測

#### ア　上大津西小学校

上大津西小学校は，平成２４年５月１日現在で，児童数６１人，学級数６学級，教員数１１名となっています。過去６年の児童数の推移は減少傾向となっており，今後の将来予測においても，微減傾向で推移することが予想されます。

なお，平成２５年度からは，一部の学年において複式学級が予想されます。

■上大津西小学校の児童数，学級数等の推移と将来予測（推計）

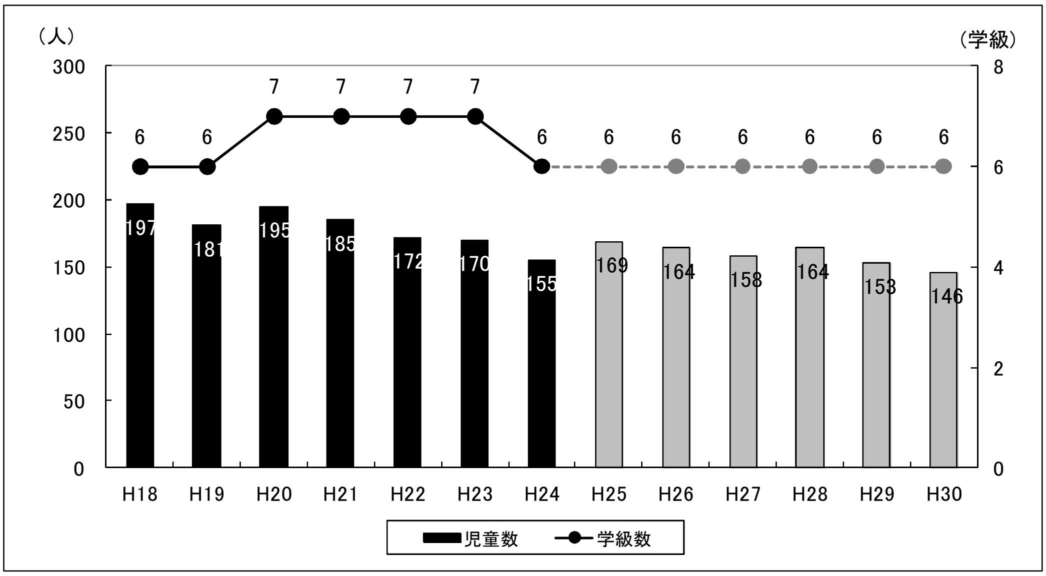



#### イ　菅谷小学校

菅谷小学校は，平成２４年５月１日現在で，児童数１６２人，学級数７学級（うち特別支援学級１），教員数１２名となっています。

過去６年の児童数の推移は，微減傾向で推移していますが，今後の将来予測においても，横ばいから微減傾向で推移することが予想されます。

■菅谷小学校の児童数，学級数等の推移と将来予測（推計）




※グラフは特別支援学級を除く
※平成 25 年度以降の児童数及び学級数は，小学校区別年齢段階別統計(H24.4.1 現在)（土浦市）をもとにした推計値
※学級数は平成 24 年度時点の学級編制基準を採用

### （２）上大津西小学校，菅谷小学校の課題

上大津西小学校と菅谷小学校における現状を踏まえ，課題を整理すると，以下のとおりとなります。

・上大津西小学校と菅谷小学校は，市の基本方針で定めた適正規模に満たない小規模校となっています。
・今後の児童数は，２校とも減少傾向で推移すると見込まれます。
・上大津西小学校は，平成２５年度から複式学級の設置が見込まれます。

## ２．上大津西小学校，菅谷小学校の適正配置の進め方

上大津西小学校と菅谷小学校は，今後も児童数の予測が減少傾向と見込まれます。しかしながら，この２校による統合では１学年２学級以上の学級編制ができる児童数には及ばない状況です。

このため，適正規模を確保するためには隣接する神立小学校や上大津東小学校との統合が考えられますが，神立小学校との統合については，鉄道により学区が分断されることや，学区の範囲が広大になり過ぎることなどから，統合については問題が多いものといえます。

また，上大津東小学校との統合については，おおつ野団地において着実な定住化が進む中，同団地への土浦協同病院の進出に伴う一層の人口定着が予想され，このことは今後の児童数の推移にも影響を与えることから，現時点では結論を見出しにくい状況にあります。

しかしながら，基本方針に示された子供たちのより良い教育環境の実現のためには，学校の配置の見直しは避けられないものと考えられます。

こうしたことから，上大津西小学校と菅谷小学校の適正配置の進め方については，今後の上大津東小学校の児童数の推移を注視しつつ，引き続き，保護者及び地域住民との協議をしながら検討を行っていくこととします。

**参考：上大津地区における小学校別の児童数・学級数の状況（平成 24 年度現在）**

| | | 1 学年 | 2 学年 | 3 学年 | 4 学年 | 5 学年 | 6 学年 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 上大津西小学校 | 児童数 | 8 | 8 | 10 | 8 | 13 | 14 | 61 |
| | 学級数 | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (6) |
| 菅谷小学校 | 児童数 | 25 | 30 | 17 | 27 | 40 | 16 | 155 |
| | 学級数 | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (1) | (6) |
| 上大津東小学校 | 児童数 | 50 | 46 | 43 | 40 | 40 | 43 | 262 |
| | 学級数 | (2) | (2) | (2) | (1) | (1) | (2) | (10) |
| 神立小学校 | 児童数 | 91 | 71 | 92 | 95 | 93 | 80 | 522 |
| | 学級数 | (3) | (3) | (3) | (3) | (3) | (2) | (17) |

※特別支援学級を除く